

Weekly Bulletin

2016-2017



RI会長
ジョンF.ジャーム



人類に
奉仕する
ロータリー

静岡東ロータリークラブ

会長／大村幸代 幹事／細川俊彦

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
大村幸代

第 2786 回例会

平成 28 年 10 月 27 日 天候 晴れ

《司 会》 細川 俊彦 君

《合 唱》 「手に手つないで」
「静岡東ロータリー」

《BGM》 SCHUBERT・PIANOQUINTET OP. 99
No. 1-D. 898

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日
該当者なし

結婚記念日

10月27日 杉田 至弘 君
11月 7日 杉山 明喜雄 君

《会長挨拶要旨》

「町内に美術館がやってきました」



大村 幸代 会長

ある日突然 町内に美術館ができました。美術館ができるらしいとの町内のうわさに半信半疑だったのですが、本日 10 月 27 日に「静岡近代美術館」が開館い

たしました。私の家から徒歩3分という近さです。プレオープンに行かれた方もいらっしゃると思いますが、孟宗竹の緑とコンクリートの壁面の無機質な色合いがとても静かな空間を創りだしています。大村洋品店の大村明さんがご自宅に飾って楽しんでいたコレクションを「気軽に立ち寄って楽しんで頂くため」個人美術館を開設されたと言いました。

日本には全国美術館会議の会員になっている美術館が、国立9館、公立237館、私立133館あるそうです。このほかに、この全国美術館会議に所属しない私設美術館がおおよそ240館ほどあるそうですから、日本全体の美術館と称するものは600館以上存在するわけで、本日我が家のご近所に新しい美術館が誕生したという訳です。

「私設美術館」というのは個人のコレクターが私財を投じて美術館を設立したもので、日本で最初の西洋美術中心の美術館が、倉敷にあります大原孫三郎が設立した大原美術館です。お出かけになられた方もたくさんいらっしゃると思いますが、美術館そのものも大変風情のある佇まいで、エル・グレゴ、ゴッティモネ、マティスなど私のような美術の知識がない者でもわくわくする様な作品がなっています。

風情といえば、足立全康が創りました「足立美術館」はその名園で知られておりまして、一面ガラス張りの美術館の中から眺める日本庭園はそれが一枚の絵画のように見とれてしまいます。横山大観のコレクションが有名で「日本人なら誰でもわかる日本庭園を通して日本の美にふれ、日本人なら誰でも知っている大観の絵に接することで日本画の魅力を理解してほしい」という創立者の思いがあふれているように思います。

「私設美術館」の中で私が一度行ってみたいと思っているのは徳島県鳴門市にある「大塚国際美術館」です。この美術館は大塚製薬グループが創った美術館ですが、すべての作品が陶板でできた複製画だそうです。つまり、全部偽者ですが、バチカンのシスティーナ礼拝堂やピカソの「ゲルニカ」などがオリジナルと同じ大きさで展示されているそうで、テーマパークのようで面白そうだなと思っています。

さて、町内の「静岡近代美術館」には本物のレオナルド・ダヴィンチの「猫」や藤島武二の「日の出」がありました。町内に美術館があるのは、とてもうれしく思います。

《クラブフォーラム（米山）》

米山グループ リーダー 肥田 隆輔 君



米山については大きく3つの話があります。第一は米山記念館について、第二は米山記念奨学会についてそして第三は米山梅吉翁の歴史、生涯についてです。本日は佐々木邦氏の『創意と奉仕の一生』という『米山梅吉伝』から、米山梅吉翁の生涯についてご説明します。

米山梅吉翁は、明治元年に東京芝田村町に生まれ、5歳の時に父親が亡くなり、母親の実家のある三島に戻り、12歳で米山家の養子となりました。

沼津中学に入り文章も上手でしたが「旧家の地主として一生を終えるに違いない」と疑問を持ち、明治16年に東京に出て江南学校に入学。その後、明治19年に東京英和学校（現在の青山学院）に入学、本多庸一先生の教えを受けアメリカに留学、8年間の苦学の末帰国。明治30年に三井銀行に入社しました。

大正3年『新隠居論』を発表し「若い人に仕事を譲り公共の事業について欲しい」と呼びかけています。大正9年に日本ロータリークラブをつくり会長となりわが国にロータリークラブが生まれました。大正13年三井信託銀行を創設、昭和9年三井報恩会をつくり理事長に就任、昭和13年に貴族院議員になりました。

幼児小学校教育にも熱心で『人々にしてほしいとあなたが望むことを人々にもその通りにせよ。』という聖書の言葉をいつも話されていたと伝えられています。

三井報恩会では、全国らい病患者ひとり一人にお土産を持って訪問するなどの医療への貢献や、貧しい農村への寄付など、多くのボランティア活動を行ないました。日本全体を見つめ、世の中の流れを考えての報恩会の活動は、ロータリーの精神を持った米山梅吉翁のリードによるものだと思います。

終戦直後の昭和21年、沼津の別荘で世を去られました。辞世の句、「いさかもなく漫々の青田かな」は「もう戦争なんかしないでくれ、これからは青田に水を一杯はったような幸せな世界になってくれ」との夢を託したものです。

生前に多くの、とくにアジアの留学生や国内の苦学生に援助を惜しまなかった遺徳を偲んで、RIも注目する「ロータリー米山記念奨学会」が生まれ、現在に至っています。

米山グループ 委員 勝山 國太郎 君



米山梅吉翁は、生粋の武士である和田竹造と三島大社神官の娘うたの三男として生まれました。明治20年に米山藤三郎夫妻と養子縁組をされ、長女はると明治29年に結婚。米山梅吉翁の長男東一郎、次男駿二は20歳、21歳の若さで亡くなり、三男桂三は慶応大学教授となりました（73歳没）。米山家は今川氏の旗本で藤三郎氏は13代目で400年にわたる旧家です。

米山梅吉翁は、人脈に恵まれた方でした。東京銀座福音会英語学校に入学、本多庸一先生に「巧遅拙速」（まずくて速いよりも遅くて良い方が望ましい）との教えを受けました。

旧友の藤田四郎に相談して、三井銀行に入行しました。これは藤田四郎の妻が井上肇の息女であったことから、井上肇の推薦を得た幸運によるものです。

米山校友会は、日本に33、海外に7存在します。2016年度の奨学生は総数19,197名、奨学金補助金総額は12億5,000万円余となっています。

《スマイル報告》

村松重治 君 先週の例会で大村会長から紹介頂いたように、静岡新聞社の印刷技術が世界新聞発行社協会から、世界第3位の表彰を受けました。カラー品質コンテストでした。会長から紹介頂いたことに御礼申し上げます。

大村幸代 君 「立っている者は親でも・・・」とか申しますが、先週は若い長島さんと長田さんに、今週は大先輩の勝山先生と肥田さんにフォーラムを担当していただきました。感謝してスマイルします。

佐野哲一 君 爺ちゃんと呼ぶ人間がまた一人増え、その分 隅へ追いやられながらも、また貢がされることとなりました。

細川俊彦 君 試飲代を忘れてました。すみません。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
10/27	52(49)	39	10	-	-	-
10/20	52(49)	36	13	-	-	-
10/13	52(49)	41	8	6	2	95.92%

(会報作成 為国浩二)